

第2回菊川市総合計画審議会（令和6年3月25日開催）での主なご指摘事項について

No.	主なご指摘事項	対応方針等
1	<p><将来像について> エッジの効いたものは、この全体の計画の中でどこで出てくるのか。10年ぐらいの計画を立てる話の中でも特に特色がないみたいな話が課題としてもあるような気がしたので、全体の中でそういう特色はどこで出していくのか。</p>	<p>基本構想の「将来像」の中で、市民一人ひとりの「幸せ」を取り入れるとともに、人口課題に重点的に取り組む計画とすることを、「地方創生」と「幸せ」を掛け合わせた造語「幸せ創生」という言葉を使うことで、第3次総合計画の特色を表現していきます。</p>
2	<p><将来像について> 「持続可能なまち」、この「まち」というのはあまりにもちょっと狭いというイメージ。これからはもっと大きく発展していこうということを狙っているのならちょっと違う表現がいい。</p>	<p>「持続可能なまち」としていた言葉を「幸せ創生都市」という表現に変更し、人口課題に重点的に取り組むというメッセージを「幸せ創生」という造語を使って表現していきます。</p>
3	<p><将来像について> 菊川市はこれをすごくやるんだ、ここを重点的にやっていくんだというところが何かあるといいのではないかな。</p>	<p>「地方創生」と「幸せ」を掛け合わせた「幸せ創生」という造語を使って、人口課題に重点的に取り組むというメッセージを表現していきます。</p>
4	<p><将来像について> 「持続可能なまち」というのは、変更の可能性があるかもしれませんが、ぜひ残しておいてほしい。</p>	<p>「持続可能」という言葉を直接的に反映することはできませんでしたが、「将来像」を設定した背景の説明文の中で表現していきます。</p>
5	<p><計画体系について> いろいろな施策が、人口減少とかそういう対策に結びついているというイメージを構想の体系案の中で表現されるのがいいのではないかな。</p>	<p>人口減少に取り組む事業を「総合戦略」としてまとめるとともに、計画体系の中で全分野を横断する視点として構成していきます。</p>
6	<p><計画の内容について> その地域はこれからどうしたいのかというのを、総合計画で盛り込むのは無理かもしれないが、あとで実行計画を策定するようになるので、その中に盛り込むことができるのかどうか。</p>	<p>総合計画の中では、市全体の将来のまちづくりの方向性を示すこととし、総合計画の下に位置付けられる個別計画などの見直しの中で盛り込んでいきます。</p>

第 2 回菊川市総合計画審議会（令和 6 年 3 月 25 日開催）での主なご指摘事項について

No.	主なご指摘事項	対応方針等
7	<p><計画の内容について> どうしたら将来に自信が持てるというか、将来に安心が持てるか、そういったところの部分を総合計画の中に入れていくべきではないか。</p>	<p>市民意識調査で得られたウェルビーイング指標の回答結果を活用して、市の強み弱みを踏まえた事業を市民ワークショップで検討し、提言いただいた内容を計画に反映させていきます。</p>
8	<p><計画の内容について> 魅力的な地域を作るといふところがいろいろなところで記載されているが、魅力的な地域とか魅力的なまちというのはすごくぼんやりしていて、人によって魅力というのは認識が異なると感じている。菊川市という1つのエリアとしてではなくて、より詳細な地域特性などを反映させた魅力といったものを深掘りしていくとさらにいいのではないか。</p>	<p>魅力的なまちをつかっていくため、各分野で活躍されている団体・企業のほか、各コミュニティ協議会の方にも参加していただいた市民ワークショップを実施し、まちづくりの各分野について、地域性も踏まえて事業内容を検討・掘り下げていきます。</p>
9	<p><計画の内容について> 総合計画とか総合戦略というのは夢があるというか、将来を見てのものなので、明るいイメージのものにした方がいいというのはよくわかるが、現実にも目を向けると、いろいろなところでかなり苦しんでいる方が相当いるし、これから先、さらに高齢化が進展する、人口も減少する、そういう負のイメージ、暗いイメージを忘れずにつくってほしい。</p>	<p>「将来像」を設定した背景の説明文の中で、明記し、そうした社会状況を踏まえて、まちづくりを進めることを表現していきます。</p>
10	<p><市民意識調査の分析について> アンケートは貴重な声だと思うので、少数意見も含めて、もっともっと読み込んでもらって、いろいろな方向にこれを活用することができるのではないか。</p>	<p>令和6年度に実施する部長や課長で組織する庁内策定部会において、具体的な事業内容を検討していく中で、参考とするほか、全庁に市民意識調査の結果を共有することで、施策形成の参考にさせていただきます。</p>
11	<p><市民意識調査の分析について> 市民意識調査で生の声が収集できたので、それを踏まえないうもったいなさを感じた。生の声というのはデータであって、それがデジタル化されているので、それを収集分析すれば社会課題が見えてくるため、その見えてきた社会課題が解決されるような計画であってほしい。</p>	<p>市民意識調査における自由意見については、テキストマイニングといった統計分析手法を活用し、集計・分析結果を市民ワークショップの中で検討・参考にさせていただきます。</p>
12	<p><市民意見の聞き取りについて> アンケートを取っているのですが、もっと一般の人の意見をたくさん聞いて、もっと細かく聞いてもらって、菊川市をどのように持っていくんだという計画を立ててほしい。</p>	<p>市民ワークショップにおいて広く多くの方に参加していただき、意見を聞いていきます。各種団体等とのワークショップでは、前回計画策定時より参加人数を増やすほか、今回は新たに高校生ワークショップや民間企業社員と行政職員とのワークショップも実施していきます。</p>

第 2 回菊川市総合計画審議会（令和 6 年 3 月 25 日開催）での主なご指摘事項について

No.	主なご指摘事項	対応方針等
13	<p><市民意見の聞き取りについて> 高校生のプレゼンを見て、すごく菊川市の高校生とか、学生のころからいろいろ関わっていることはいいことだなと思うので、そういったところで何かうまく取り入れられたらいいなと思う。</p>	<p>市民ワークショップにおいて、新たに高校生ワークショップを実施し、市内外の高校に通う生徒の意見を聞いていきます。</p>
14	<p><市民意見の聞き取りについて> 高校生のまちづくりについての発表がすごくよかった。高校生だけではなくて、中学生、小学生もまちづくりについて考えを持っているのではないかと思いますので、ぜひそういうところを活かしていただければいいなと思う。</p>	<p>出前行政講座を活用し、小学生や中学生に総合計画について知ってもらうとともに、将来のまちづくりについて出された意見を活かしていきます。</p>
15	<p><人口課題への対応について> 人口は減るばかりなんです。そういうのをどうしたらいいんだろうということで、この計画に入れてもらえればと思う。</p>	<p>人口減少に取り組む事業を「総合戦略」としてまとめるとともに、計画体系の中で全分野を横断する視点として構成していきます。</p>
16	<p><審議会の進め方について> この回でこういう論点を議論したいとか、こういうポイントの意見が欲しいという話を先に説明してくれるといいのかなと思う。</p>	<p>議事の始めに、その日の審議会で議論していただきたいポイントを説明していきます。</p>
17	<p><審議会の進め方について> 専門分野は専門分野のところで煮詰めてもらって、こういう総合計画審議会に上げてもらって、そこで議論するという方法が一番合っているというか、まとまるような気がした。</p>	<p>審議会でご審議いただいた計画体系や市民ワークショップで出された意見に基づいて、令和 6 年度中に部長や課長で組織する庁内策定部会において、各分野の具体的な内容を検討していきます。とりまとめた計画案は、本年度末までに審議会へ説明していきます。</p>
18	<p><審議会の進め方について> ワークショップとか地域とか、分野の会もあるので、多様な地域とか分野の意見を吸い上げていただくほうに力を入れてほしい。</p>	<p>令和 6 年度中に部長や課長で組織する庁内策定部会において、各分野の具体的な内容を検討していく中で、必要に応じて各部課が所管する委員会等の委員の意見を聞いていきます。</p>